

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	鹿児島大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カゴシマダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F146110111620
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	鹿児島県
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	国立大学
	科目名	地域キャリア・インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部
	担当教職員名・役職	渡邊和明・助教、江山・特任助教、西山元子・専門職員
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	14
	受入企業等数	11
	受入企業等名	岩崎産業(株)、鹿児島市観光農業公園、カミチクグループ、(株)ジャパンファーム、白露酒造(株)、(株)新日本技術コンサルタント、(一社)地域商社まくらざき、南国殖産(株)、日本エアコミューター(株)、(福)日置福祉会、(株)夢現
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
要素①	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
		10.中小企業でのキャリア形成支援活動
		11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	
要素②	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	鹿児島大学と鹿児島商工会議所及び民間企業・自治体等の事業所とが連携し、「課題解決型インターンシップ」プログラムを構築している。 学生は事前に各事業所より課題(テーマ)を与えられ、10日間の就業体験を通じて受入先や鹿児島県の現状に関する理解を深めつつ、課題解決策の提案に向けて取り組む。学生の社会人基礎力の養成、地元への就業意欲の向上、現場適応力や課題解決力の向上などを主たる目的としている
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している
		2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している
		8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
		9.その他
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	当該インターンシップは、所属学部が実施するインターンシップに関連する認定科目としても実施している。
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
		大学 学部4年
要素②	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	全学部を対象に3年次以上を対象。高度共通教育科目・選択科目として、休業期間中に実施し2単位を付与する。 学生によっては、所属する学部研究科でのインターンシップに関連する認定科目として取扱うため、学部1年生～大学院生まで参加が可能である。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	成果報告会
要素④	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	「社会人基礎力演習」、「地域キャリア・インターンシップ事前演習」といった共通教育科目(1～2単位)を事前学習として位置づけており、これらの科目を修得しなければ地域キャリア・インターンシップに参加することができない。 これらの事前学習に位置づけている科目では、経営学の基礎に関する講義や、模擬ビジネスプランコンペ等を通じ、社会人としての基礎知識やビジネスマナーの修得、プレゼンスキルや協働能力の向上などを企図している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	学生は毎日の活動について日報を作成し、10日間のインターンシップ終了後に事後レポートを提出し、事後振り返り講座にて自身の学びや気づきを深化させる。その後、共通教育科目「地域キャリア・インターンシップ修了演習」(1単位)で自己の主張や見解、地域に対しての理解を表明できるようにし、成果報告会を通じてプレゼンテーション力や資料作成力を向上させる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	自治体・企業、一般市民などを招き、学内外向けに、成果報告会を実施。
要素⑤	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入先で最終プレゼン発表を行い、講評をもらっている。全日程終了後にインターンシップの評価をもらっている。
要素⑤	4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップの実施前後に社会人基礎力の自己評価テストを実施している。 また、事後アンケートによる定量的な調査や日報・事後レポートを用いたテキストマイニング等を行っている。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	10日以上
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
要素⑤	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	

項目	確認事項	届出内容
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前に大学と受入先事業所とで協議・検討のうえ、全ての受入先で10日間以上のプログラムを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
		6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	鹿児島商工会議所とのインターンシップ等協議会の開催。 受入先向け事前説明会、プログラム構築個社支援、振返りワークショップの開催。 鹿児島県インターンシップ支援事業との連携。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	当該インターンシップを開催するにあたり、鹿児島商工会議所と協議会を開催し、会員企業に向けた周知と協力依頼を実施。その後、事業所向け受入説明会→各事業所との実施プログラム構築→各事業所による学生向けプログラム説明会→マッチング→インターンシップ実施前・実施中の大学と事業所間の連携→終了後の事業所向け実施後振り返りワークショップ→次年度に向けた検討…といった年間サイクルで協働している。 鹿児島県が実施する県内企業向けのインターンシップ支援事業と連携し、セミナー講師としての出講やノウハウの提供、受入先の相互共有を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus11.kuas.kagoshima-u.ac.jp/showDetail/ja/10338
問い合わせ先	大学等名	鹿児島大学
	担当部署名	キャリア形成支援課（インターンシップ窓口）
	担当者役職名	専門職員
	担当者氏名	西山元子
	電話番号	099-285-7053
	メールアドレス	intern@kuas.kagoshima-u.ac.jp